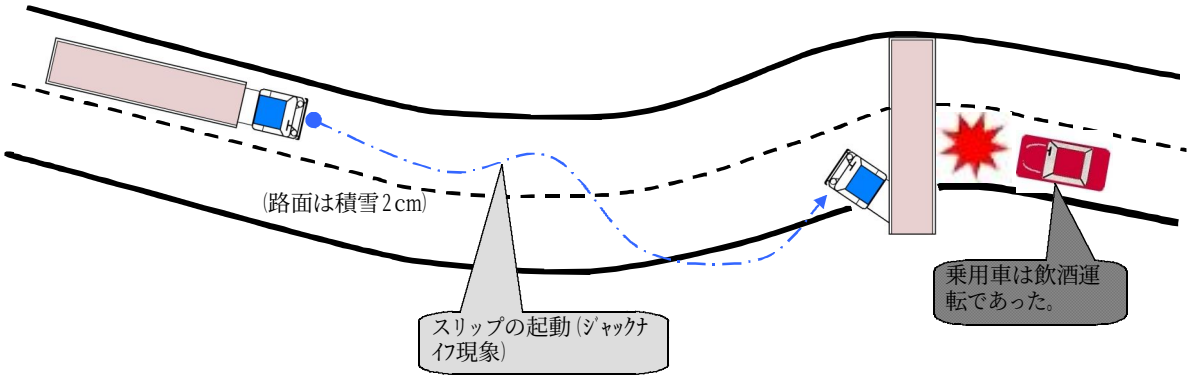
事故事例〔トラック　1〕

曜日・時間・天候	木曜日・1時5分・曇り
場　　所	国道の下りS字カーブ
道路の状況	積雪　幅員6．4 m
運　転　者	年齢41歳　運転歴20年6ヶ月
乗務開始～事故発生の乗務距離	1，640 km（1泊2日行程の2日目）
損　　害	死亡者2名

〔事故概要〕

トレーラに27t超(ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ)を積載し、おりからの降雪で路面に約2 cm の積雪となっていたが、すり減ったスタットレスタイヤにも係わらずタイヤチェーンを装着せず約50 km/h で走行中、下りのS字カーブでスリップにより、ジャックナイフ現象を起こし、トレーラが道路をふさぎ横転寸前で停止した。そこへ対向してきた乗用車が衝突したため、衝撃でトレーラが横転し乗用車を押しつぶした。



種別・業態	普通・貨物・トタクタ、トレーラ（高床）
最大積載量	32，880kg
当時の積載量	27，740kg
乗車定員	2名
当時の乗車定員	1名

【事故の推定原因】

- ○　降雪により積雪路面(約2 cm)であったがすり減ったスタッドレスタイヤにもかかわらずタイヤチェーンを装着せずに走行していたため
- ○　積雪路面にもかかわらず、下りS字カーブを50 km/h で走行したため
- ○　対向してきた乗用車の運転者が飲酒運転であったので、事故回避が遅れたため

【事故の要因】

- ○　11月末であったが降雪により約2 cm の積雪路面でスリップしやすい状態にあった
- ○　すり減ったスタットレスタイヤであったのにタイヤチェーンを装着しなかった
- ○　満載に近い積載量（27t超）を積載していたので、乗用車を押潰した
- ○　下りのS字カーブにもかかわらず50 km/h で走行していた
- ○　対向車（乗用車）の運転者は飲酒運転のため、事故回避に遅れがあった
- ○　天候が雪で視界が悪かった

【運転ミス要因（心身、態度、技術）】

- ○　積雪路面ではあったが、降り積もったばかりの雪であったことから「まだ大丈夫」との過信があった

【再発防止対策】

- ○　降雪・積雪路面時でのタイヤチェーンの早期装着及び安全速度での運転の指導徹底
- ○　けん引車の特性等を踏まえた運転操作に関する指導
- ○　道路状況の変化に対する管理者への連絡と管理者からの的確な指示の徹底